



小地域ケア会議交流会

小地域ケア会議に関するアンケート結果 報告書



令和2年5月 作成

～目次～

- 1、アンケート調査の概要
・・・・・・・・P.1

- 2、小地域ケア会議に関するアンケート調査結果（代表者）
・・・・・・・・P.2

- 3、小地域ケア会議に関するアンケート調査結果（委員）
・・・・・・・・P.7

- 4、小地域ケア会議に関するご意見（代表者及び委員）
・・・・・・・・P.15

- 5、アンケート調査から見てきたこと
・・・・・・・・P.18

- 6、課題及び今後の方向性
・・・・・・・・P.19

1、アンケート調査の概要

●アンケートの目的

小地域ケア会議の代表者、委員の皆様が小地域ケア会議の運営にあたって感じていること、成果や課題などを把握することを目的に実施させていただきました。

●対象者

令和元年度8月～12月中に小地域ケア会議を実施した支部の
代表者及び委員 448人

●調査期間

令和元年度8月～令和元年度12月

●実施状況

回答者数：348人（委員長22人／委員326人）
回収率：77.5%

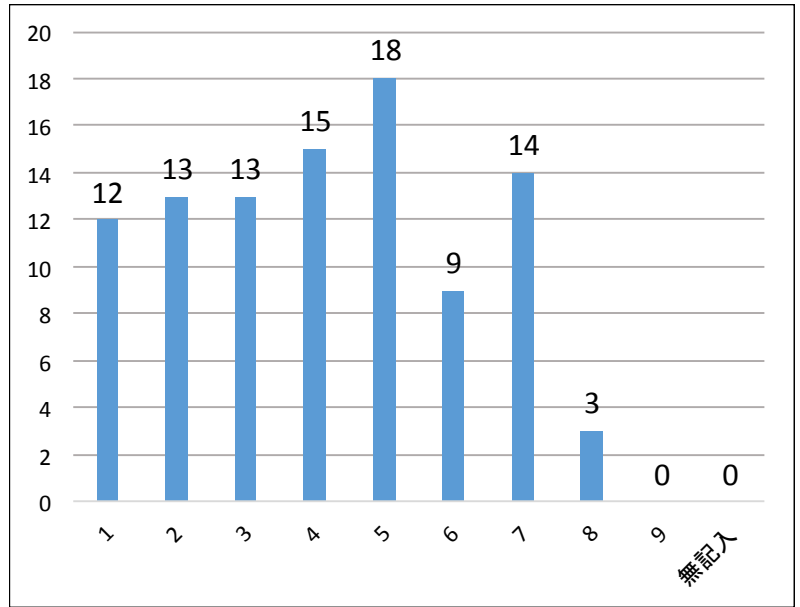
●実施主体

津山市社会福祉協議会 津山市地域包括支援センター
津山市山北520（津山市役所内）
電話：0868-23-1004

2、小地域ケア会議に関するアンケート調査結果（代表者）

【問1】小地域ケア会議が必要だと思う理由は何ですか。（複数回答）

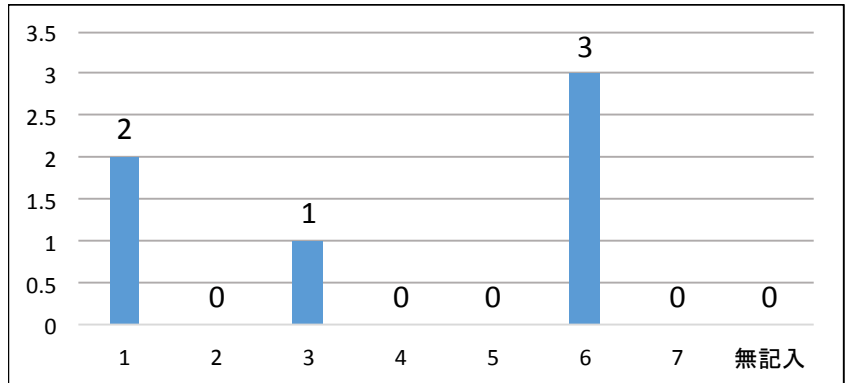
- 1 地域の情報（住んでいる人々の状況、社会資源）を知ることができる
 - 2 地域の福祉課題・問題を知ることができる
 - 3 地域の様々な福祉課題・問題を学ぶことができる
 - 4 地域の課題や問題を地域住民みんなで解決に向けて話し合えることができる
 - 5 地域住民と職員（行政、社協、包括）が連携・協働して課題解決に向けて取り組める
 - 6 地域の要援護者（支援が必要な人、地域で心配な人）についてみんなで相談できる
 - 7 地域だけでは解決できないことを職員（行政、社協、包括）につなげることができる
 - 8 必要性を実感できていない
 - 9 その他
- 無記入



必要だと思う理由は、「地域住民と職員が連携・協働して課題解決に向けて取り組める」が81.8%と一番多く、「地域の課題や問題を地域住民みんなで解決に向けて話し合えることができる」が68.1%と2番目に多い。

【問2】【問1】で8と答えた方にお聞きします。「必要性を実感できていない」と答えた理由について教えてください。（複数回答）

- 1 地域のことはよく知っている
 - 2 地域に課題がない
 - 3 課題はあるが今は特に困っていない
 - 4 小地域ケア会議が何か分からない
 - 5 何を話し合っているか分からない
 - 6 すでに同じような会議が多い（ある）
 - 7 その他
- 無記入

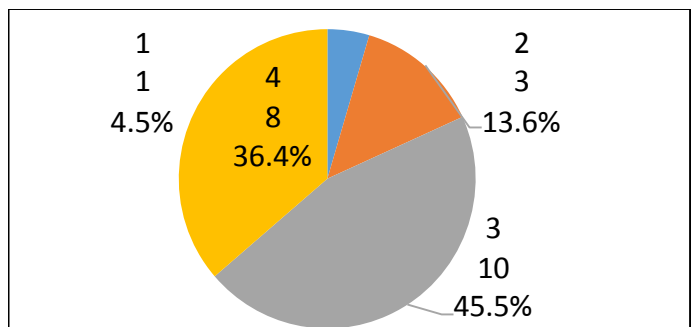


必要性を実感できていない理由は、「すでに同じような会議が多い」が13.6%と一番多くなっている。

【問3】小地域ケア会議を運営していくことを負担に感じられていますか。

- 1 強く感じている
 - 2 感じている
 - 3 あまり感じていない
 - 4 感じていない
- 無記入

負担感では、「あまり感じていない」「感じてない」をあわせると、81.9%となっている。

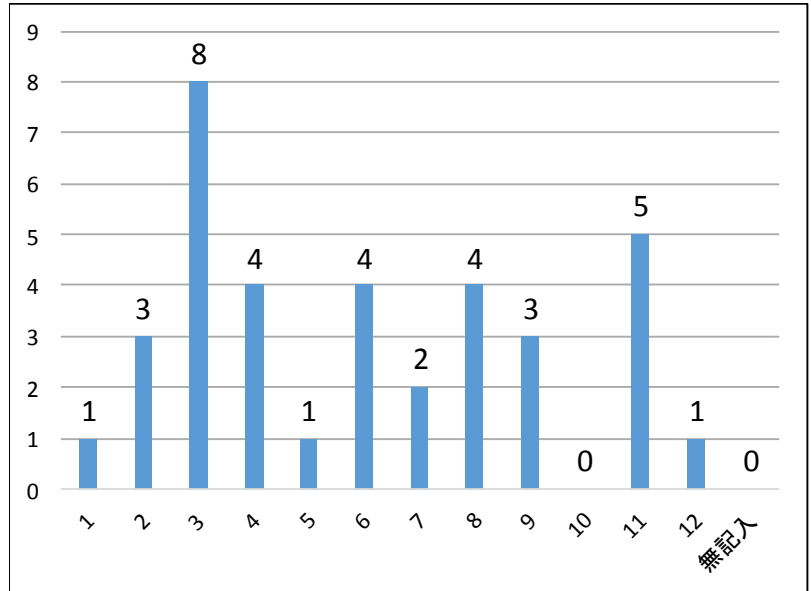


【問4】【問3】で1または2と答えた方にお聞きします。どのようなことに負担を感じていますか。

- ・ 参集範囲の取りまとめ。
- ・ 内容について、行政とのやり取り、および地域住民との兼ね合いで会が上手くいくかの心配
- ・ 小地域とはどの程度の人口規模を想定しているのか？
- ・ 行事や会議、催事に参加しない、出来ない人の声をどうくみあげるのか。

【問5】小地域ケア会議を運営していくうえでの課題は何だと思いますか。（複数回答）

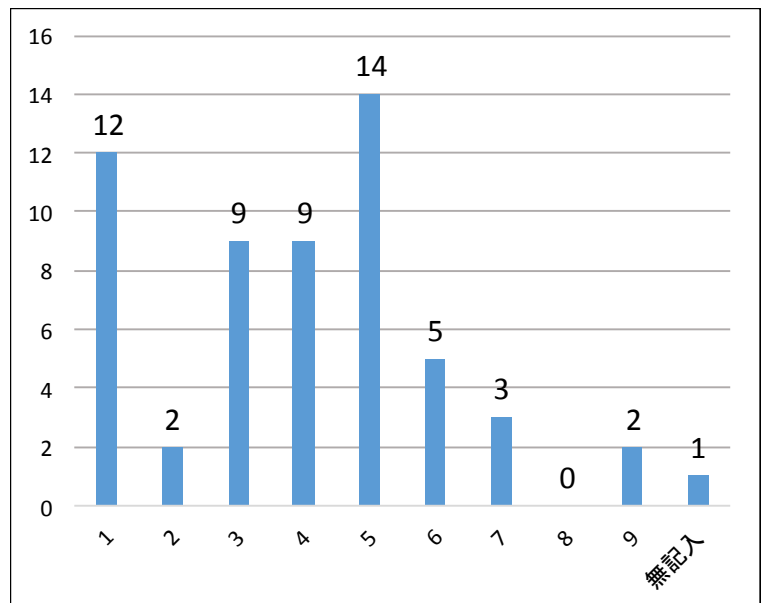
- 何を話し合っ良いのか分からない
- 小地域ケア会議が支部に浸透していないため、活動がしにくい
- 小地域ケア会議の委員以外の人の意見が反映されていない
- 会議で意見が出ない
- 小地域ケア会議が何か分からない
- 開催回数が少なく、間が空いてしまう
- 行事を企画する場になっている
- 地域課題を話し合っていない
- 出席者が少ない
- 分からない
- 特にない
- その他
- 無記入



課題では、「小地域ケア会議の委員以外の人の意見が反映されていない」が36.3%と最も多くなっている。

【問6】小地域ケア会議を開催するにあたって、工夫していることはありますか。（複数回答）

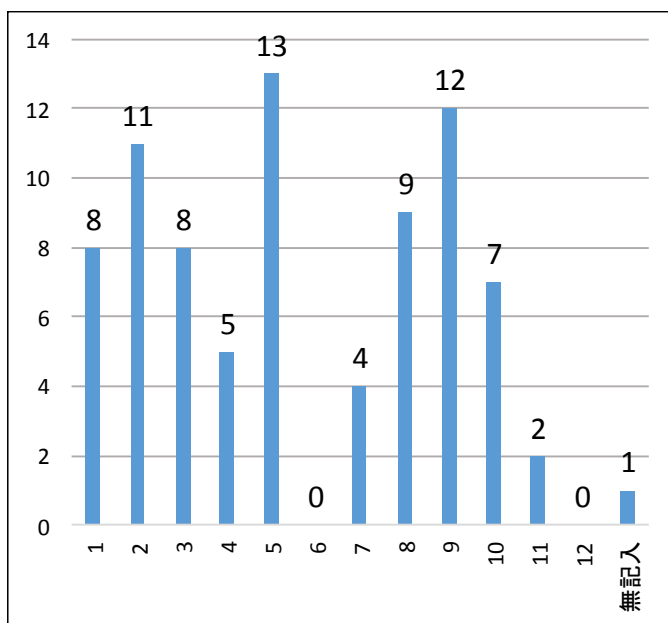
- 町内会の正副会長などが出席している
- 十分に役員間で引継ぎ（情報共有）をしている
- 支部内や町内会で小地域ケア会議の周知をしている
- 司会、資料準備など役割分担をしている
- 職員（行政、社協、包括）と充分打ち合わせをしている
- 他支部の人や情報誌（新聞、マイタウン津山など）で情報をえている
- 若い世代（子ども会、PTA）が参加している
- 特にない
- その他
- 無記入



工夫点では、「職員と充分打ち合わせをしている」が63.6%、「町内会の正副会長などが出席している」が54.5%を占めている。

【問7】小地域ケア会議の成果を教えてください。（複数回答）

- 1 地域の現状や良いところが把握できた
 - 2 地域の福祉課題が明確になった
 - 3 具体的な取り組みができた
 - 4 地域での自分の役割が明確になった
 - 5 各種団体（町内会、民生委員、愛育委員など）のつながりが深まった
 - 6 地域の課題が解決できた
 - 7 地域の中で困ったときに相談できる人ができた
 - 8 新しい知識の習得や新しい体験をすることができた
 - 9 福祉についての関心が高まった
 - 10 小地域ケア会議の委員全体の福祉についての関心が高まった
 - 11 特になし
 - 12 その他
- 無記入



成果は、「各種団体のつながりが深まった」が59.0%と最も多くなっている。次いで「福祉についての関心が高まった」が54.5%、「地域の福祉課題が明確になった」が50.0%となっている。

【問8】【問7】で3と答えた方にお聞きします。どのような取り組みができましたか。（自由記述）

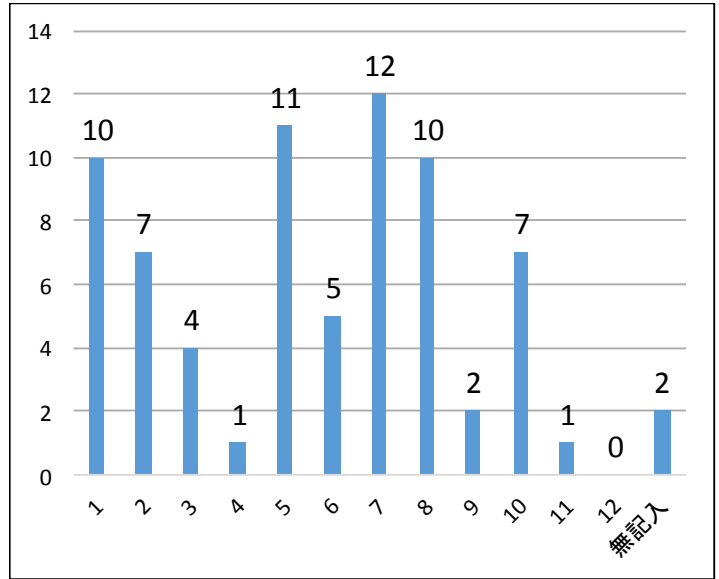
- ・災害時支援マップの作成
- ・おたすけ隊
- ・見守り台帳
- ・ふれ愛ひろば
- ・子ども食堂
- ・ふれ愛カフェ
- ・防災マップ
- ・イベント（出前カフェめぐりんや防災訓練等）の質の向上、充実が図られたと思う。
- ・神代で各種団体役員の方に小地域ケア会議の研修を開いた。
- ・年間活動計画を作り、実行できた（5項目）
- ・子育てサロンさくらんぼ
- ・まちばの寺子屋
- ・寺子屋ランチ
- ・見守り台帳
- ・世帯票の作成
- ・福祉マップ作成

【問9】【問7】で6と答えた方にお聞きします。どのような課題が解決できましたか。（自由記述）

回答者なし

【問10】職員（行政、社協、包括）が参加して良かったことはありますか。（複数回答）

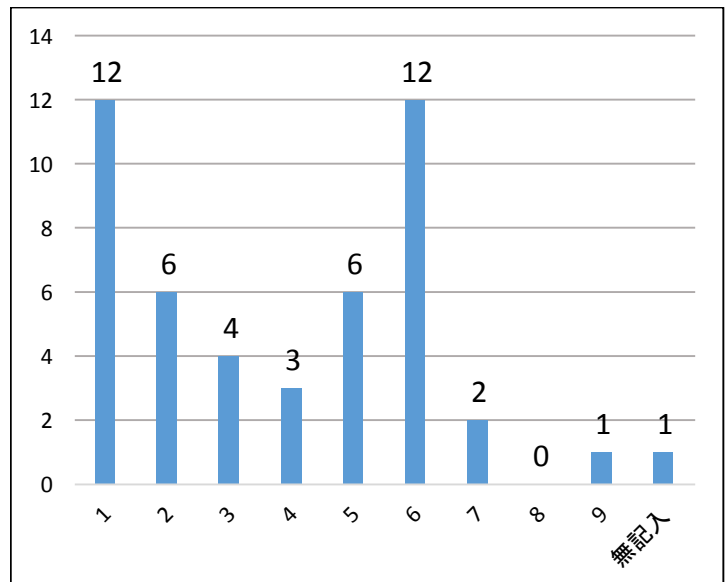
- 1 福祉・医療の情報（消費者被害情報、検診など）が入る
 - 2 高齢者に関する相談がしやすくなった
 - 3 子ども子育てに関する相談がしやすくなった
 - 4 障がい児・者に関する相談がしやすくなった
 - 5 地域づくりに関する相談がしやすくなった
 - 6 市への要望がしやすくなった
 - 7 他地区の情報が入る
 - 8 行政、社協、包括が何をする機関（業務内容など）が分かった
 - 9 課題を解決しやすくなった
 - 10 専門的なアドバイスが得られる
 - 11 特にない
 - 12 その他
- 無記入



職員が参加して良かったことは、「他地区の情報が入る」が54.5%、次いで「地域づくりに関する相談がしやすくなった」が50.0%を占めている。

【問11】今後、職員（行政、社協、包括）に期待することはありますか。（複数回答）

- 1 福祉のことや市の制度・施策などの情報を伝えてほしい
 - 2 職員がすぐ変わらないでほしい
 - 3 地域のことをもっと知ってほしい
 - 4 小地域ケア会議の交流会だけでなく、全支部を対象とした研修会を開催してほしい
 - 5 地域に求めるもの（職員が必要だと思う取り組みなど）をはっきりしてほしい
 - 6 地域だけでは解決できない事を市全体で検討してほしい
 - 7 小地域ケア会議についてしっかりと説明してほしい
 - 8 特にない
 - 9 その他
- 無記入

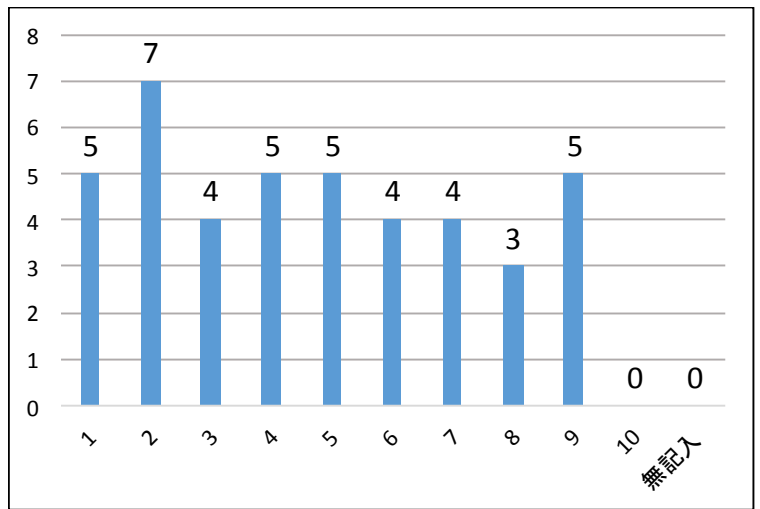


職員に期待することは、「福祉のことや市の制度・施策などの情報を伝えてほしい」「地域だけでは解決できない事を市全体で検討してほしい」が最も多く、54.5%となっている。

【問12】【問11】で1と答えた方にお聞きします。どのような情報が知りたいですか。

(複数回答)

- 1 人口や高齢化率など地域に関するデータ
- 2 避難行動要支援者名簿
- 3 介護保険制度
- 4 認知症に関すること
- 5 他支部の小地域ケア会議などの取り組み
- 6 消費者被害情報
- 7 集いの場に関すること (ふれあいサロン、こけないからだ講座など)
- 8 医療に関すること (検診、予防接種など)
- 9 活動に関する補助金
- 10 その他



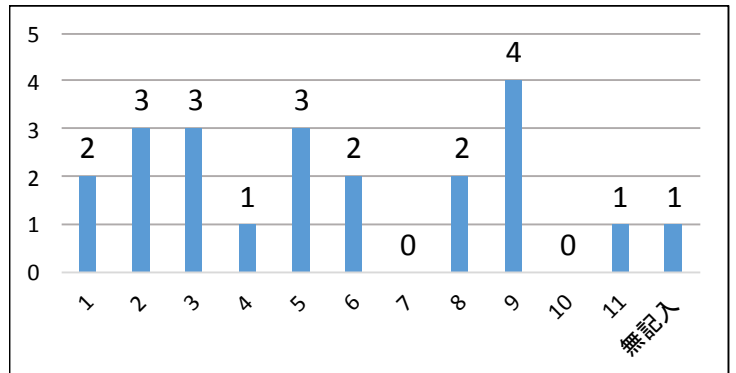
無記入

知りたい情報では、「避難行動要支援者名簿」が58.3%と最も多くなっている。

【問13】【問11】で4と答えた方にお聞きします。どのような研修会に参加したいですか。

(複数回答)

- | | |
|--------------------------|----------|
| 1 防災・防犯 | 5 認知症 |
| 2 地域の見守り (見守りボランティアなど) | 6 介護保険制度 |
| 3 地域を支え合い (ちょっとしたお手伝いなど) | 7 個人情報 |
| 4 集いの場づくり | 8 健康づくり |
| | 9 交通・移動 |
| 10 ひきこもり | 11 その他 |

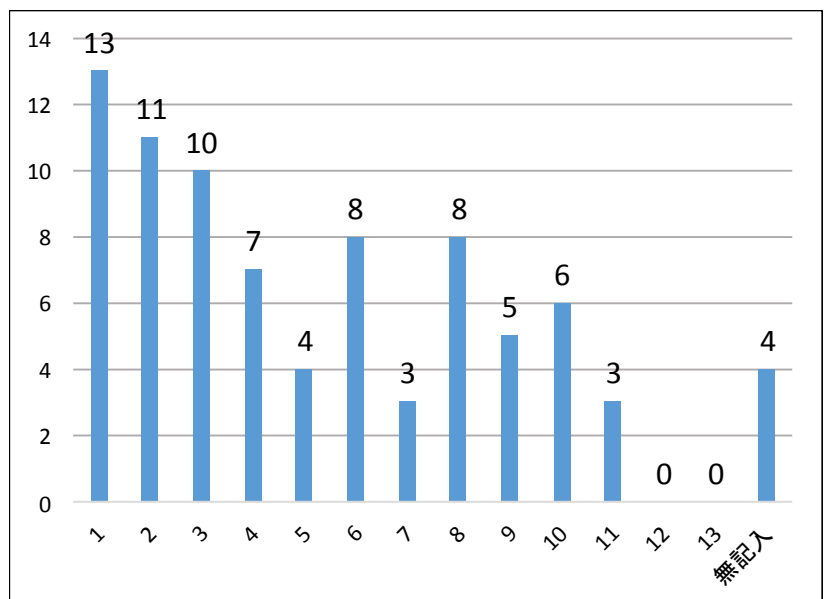


無記入

研修会の内容では、「交通・移動」が最も多く回答されている。

【問14】今後小地域ケア会議で協議・取り組みたいことは何ですか。(複数回答)

- 1 日常的な見守り体制
- 2 緊急時の連絡体制
- 3 災害時の対応
- 4 認知症の方に対する理解と支援体制
- 5 小地域ケア会議の委員以外の意見を聞く取り組み (アンケート、座談会など)
- 6 地域内の行事や集いの場づくり (ふれあいサロン、こけないからだ講座など)
- 7 支部福祉活動計画の策定
- 8 担い手の育成
- 9 子育て支援
- 10 移送支援 (買い物や通院)
- 11 空き家・空き店舗の活用
- 12 特にない
- 13 その他



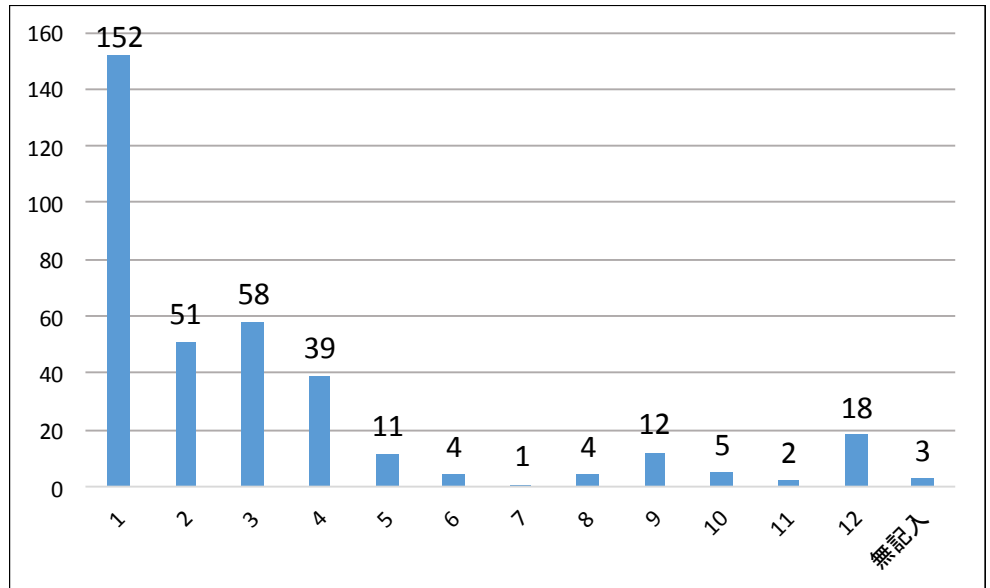
無記入

今後協議・取り組みたいことでは、「日常的な見守り体制」が59.0%と一番多く、次いで「緊急時の連絡体制」が50.0%、「災害時の対応」が45.4%となっている。

3、小地域ケア会議に関するアンケート調査結果（委員）

【問1】所属について教えてください。（複数回答）

- 1 町内会役員
- 2 民生委員・児童委員
- 3 愛育委員・栄養委員
- 4 老人クラブ員
- 5 消防団員
- 6 小中学校PTA役員
- 7 地域マネジャー
- 8 公民館長
- 9 ふれあいサロンの代表
- 10 事業所
- 11 交番・駐在署
- 12 その他
- 無記入

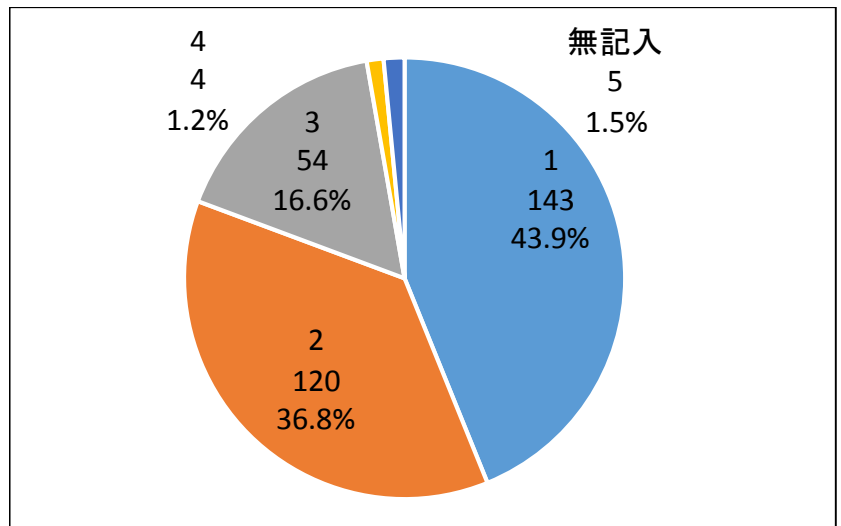


回答者の所属では、「町内会役員」が一番多く、全体の46.0%を占めている。
次いで「愛育委員・栄養委員」が17.0%となっている。

【問2】あなたの小地域ケア会議への参加について教えてください。

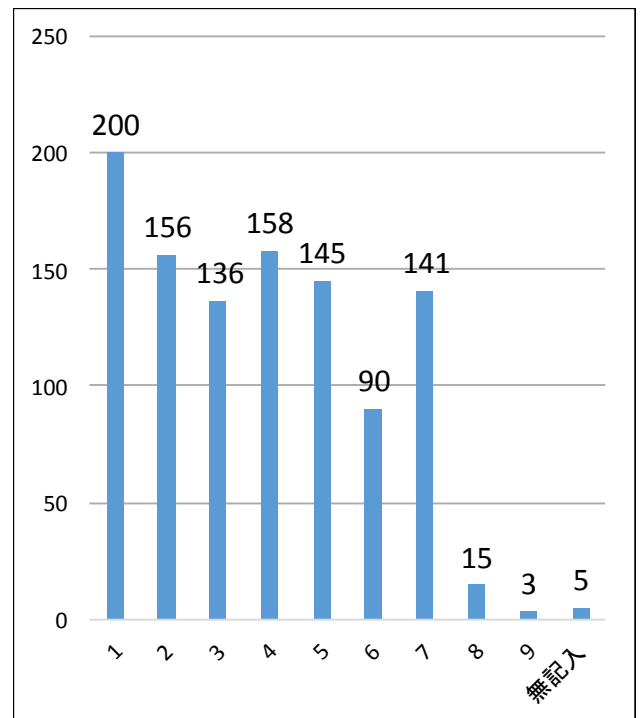
- 1 積極的に参加している
- 2 都合が合えば参加している
- 3 役員のため仕方なく参加している
- 4 参加できていない
- 無記入

小地域ケア会議への参加については、「積極的に参加している」が43.9%と最も多く、次いで「都合が合えば参加している」が36.8%となっている。



【問3】小地域ケア会議が必要だと思う理由は何ですか。（複数回答）

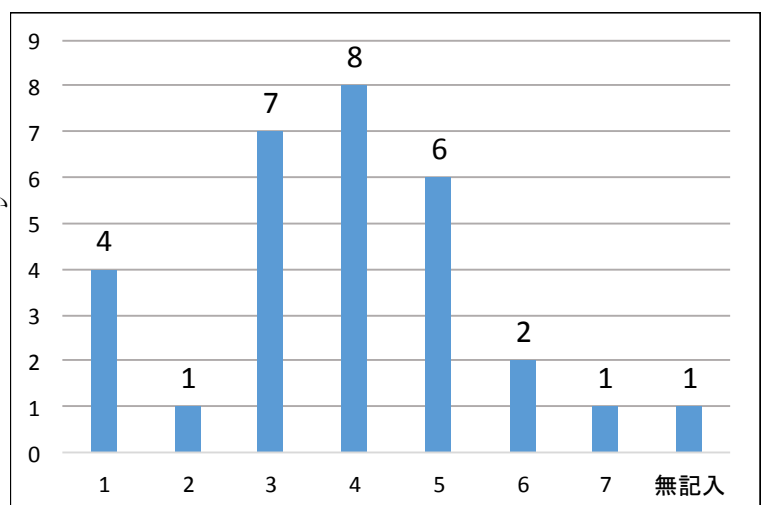
- 1 地域の情報（住んでいる人々の状況、社会資源）を知ることができる
 - 2 地域の福祉課題・問題を知ることができる
 - 3 地域の様々な福祉課題・問題を学ぶことができる
 - 4 地域の課題や問題を地域住民みんなで解決に向けて話し合うことができる
 - 5 地域住民と職員（行政、社協、包括）が連携・協働して課題解決に向けて取り組める
 - 6 地域の要援護者（支援が必要な人、地域で心配な人）についてみんなで相談できる
 - 7 地域だけでは解決できないことを職員（行政、社協、包括）につなげることができる
 - 8 必要性を実感できていない
 - 9 その他
- 無記入



必要だと思う理由は、「地域の情報を知ることができる」が61.3%と最も多く、次に「地域の課題や問題を地域住民みんなで解決に向けて話し合うことができる」が48.4%を占めている。「地域の福祉課題・問題を知ることができる」が47.8%と3番目に多くなっている。

【問4】【問3】で8と答えた方にお聞きします。「必要性を実感できていない」と答えた理由について教えてください。（複数回答）

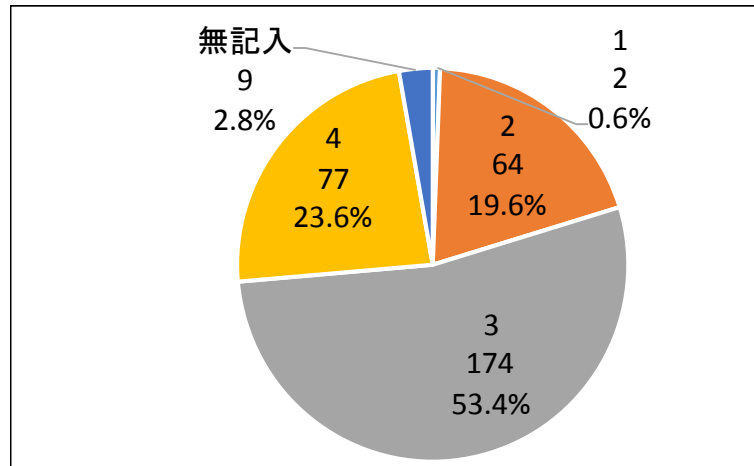
- 1 地域のことはよく知っている
 - 2 地域に課題がない
 - 3 課題はあるが今は特に困っていない
 - 4 小地域ケア会議がどのような機能を果たすかわからない
 - 5 何を話し合っているかわからない
 - 6 すでに同じような会議が多い（ある）
 - 7 その他
- 無記入



必要性を実感できていない理由は、「小地域ケア会議がどのような機能を果たすかわからない」が53.3%と最も多く占めている。

【問5】小地域ケア会議に参加することを負担に感じられていますか。

- 1 強く感じている
- 2 感じている
- 3 あまり感じていない
- 4 感じていない
- 無記入



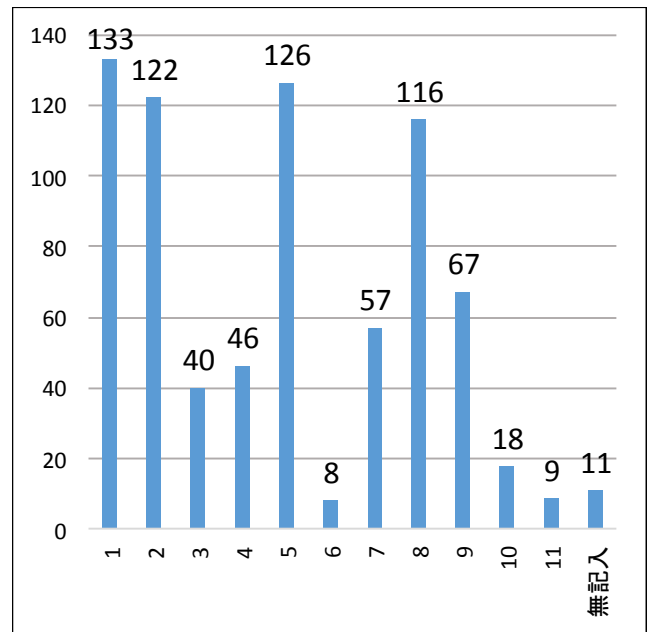
負担感は、「あまり感じていない」(53.4%)「感じていない」(23.6%)をあわせると、77.0となっている。

【問6】【問5】で1または2と答えた方にお聞きします。負担を感じながらも参加している理由は何ですか。(自由記述)

- ・高齢化社会に面している。
- ・高齢化の問題は近い将来の自分の問題でもあるので。
- ・参加された人たちの意見が聞かれるから。
- ・必要だから。
- ・やっぱり出てみたら話ができて、大事だなと思うから。
- ・地区の役員をしているので。何か自分にとって得る物があるかもしれないので。
- ・町内の役員であるため。
- ・役員としての責任を思う。
- ・町内から頼まれているから。
- ・地域の為出来る事。
- ・地域の為、人のために役に立つことが出来ればというボランティア精神
- ・子ども年寄り、地域の為に出来る限りの事はやりたいと思っている。
- ・地域の問題を知ることが出来るから
- ・地域の福祉課題について知ることが出来る。
- ・自分自身勉強させてもらっているから。
- ・町内会の役員として他の活動、地域活動が多く、少し負担を感じている。地域ケアは必要と思うが今時点大きな問題ないが近い将来に不安を感じている。その為、勉強とその他の地域の情勢を知りたくて参加している。
- ・災害時等で実際に動けるようになってきていることが町内会としても必要だと思っているから。
- ・自分たちの地域の問題解決につなげたい。

【問7】小地域ケア会議の成果を教えてください。（複数回答）

- 1 地域の現状や良いところが把握できた
 - 2 地域の福祉課題が明確になった
 - 3 具体的な取り組みができた
 - 4 地域での自分の役割が明確になった
 - 5 各種団体（町内会、民生委員、愛育委員など）のつながりが深まった
 - 6 地域の課題が解決できた
 - 7 地域の中で困ったときに相談できる人ができた
 - 8 新しい知識の習得や新しい体験をすることができた
 - 9 福祉についての関心が高まった
 - 10 特にない
 - 11 その他
- 無記入



成果は、「地域の現状や良いところが把握できた」が40.7%と最も多く、次いで「各種団体のつながりが深まった」が38.6%を占めている。

【問8】【問7】で3と答えた方にお聞きします。どのような取り組みができましたか。（自由記述）

●地域の状況の把握

- ・困っている方の現状を知るために訪問することができた。
- ・ケア対象者のピックアップと地図上での表示。
- ・地域のマップ作り。各地区で情報交換。
- ・マップ上に必要なことを書いて、共通認識ができた（リスト・マッピング）。
- ・見守り台帳が作成できた。
- ・毎月1定例会を開き、当面の問題点について話し合いが出来る。お互いに話し合う事により、地域の内情が分かってきた。
- ・地域のマップ作り
- ・住民把握
- ・支えあいマップの作製（町内会によっては、世帯票の作成）
- ・高齢の独り住まいの方の把握
- ・マップ作成とチェック
- ・今年度はアンケートが出来たので良かった。

●災害

- ・災害発生時に誰がどの家の支援（確認）をするかが明確にできた。
- ・自主防災組織の結成。
- ・防災のスマイル通信の配布への取り組み。
- ・災害時の避難場所の決定。
- ・災害時等緊急避難場所が出来た。
- ・町内会での防災についての話し合い
- ・支援体制の取り組み

●交流・集いの場

- ・出前カフェ、ウォーキング
- ・めぐりんで地域をまわってその地域の様子が分かった。地域の人にも連絡できた。
- ・当町内での出前カフェを執行し、地域の人々との話し合いが出来、問題点が出てきた。
- ・観月会や子供とおもちつき等ができた。
- ・テントカフェなどみんなで取り組めた。ピザ、そば、ぼたもち。
- ・テントカフェ
- ・世代交流ふれあいウォーキングの実施
- ・出前カフェを実施。
- ・子どもカフェ

●その他

- ・AEDの設置。
- ・認知症の探索などの練習ができた。
- ・「おたすけ隊」を発足させ、地域住民の困り事などの解消に貢献できた。
- ・わくわく教室
- ・介護保険制度の説明が1回目と2回目。3回目が施設見学。
- ・老人クラブの各種会合、主催行事などについて多くの方との協力が得られ、総て円滑に進める事ができた。
- ・公民館での自己紹介で相談できる人だと感じた。
- ・地域でそれぞれの目で見ているので、ひとり考えだけでなく、普段の生活の中で見えるものを相談したり、支所の関係職員の方にも細かな所まで相談できる。その問題に対して、「すぐ行って、様子を見ます。」との返答でとても安心できることがある。
- ・自分一人で解決しようとしなくて良いということが分かった。委員以外の方にもっとアピールして相談窓口を明確に地域の皆さんに知ってもらいたいと感じた。他地域の現状が理解でき、参考になった。
- ・職歴を活かして自分にできることが発揮できた。具体的には調理。
- ・結果にすぐつながらなくても、みんなで考える事が大事だと思った。
- ・自分の所属する部署に持ち帰り、伝える事が出来た。
- ・福祉活動の取り組み（声かけ）（見守り）の地区での役割分担。
- ・地域の動ける人たちが老人や子どもたちを見守っていきつつあると思える。
- ・地域の福祉課題について、協議の場ができた。
- ・人のつながりが出来た。
- ・町内会の役員会で認識を深める事が出来た。

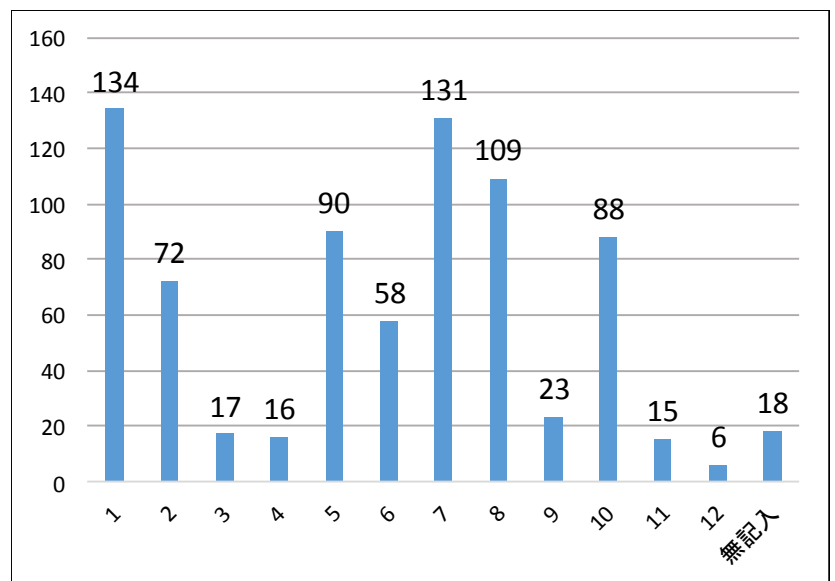
【問9】【問7】で6と答えた方にお聞きします。どのような課題が解決できましたか。

(自由記述)

- ・地域内の支援が必要と思われる家庭が把握できた。
- ・見守り台帳作成などで町内の情報がつかめた。
- ・我が町内の住民の困り事（隣の家の植木伐採等）に町内住民ではなく、地域の方がして下さった。しかも安価で。
- ・小中学生の通学路の整備は、今まで何度も課題に上がっていたが（私が言い続けても5年目、その前からいれると10年以上の問題であった）今年の9月に、地域の役員さんを含め、市の方から、整備の方が来て本当に安全に通学できることになった。今後も草や土が流れて狭くなってくる通学路は、定期的に整備してもらえるのか不安。
- ・小中学校の危険な通学路の件をずっと学校に伝えていたが、何年も変わらなかった。しかし、小地域ケア会議のときに、久本、工門の役員の方、警察の方、共に話を聞いて下さり、動いて下さりとてもありがたかった。

【問10】職員（行政、社協、包括）が参加して良かったことはありますか。（複数回答）

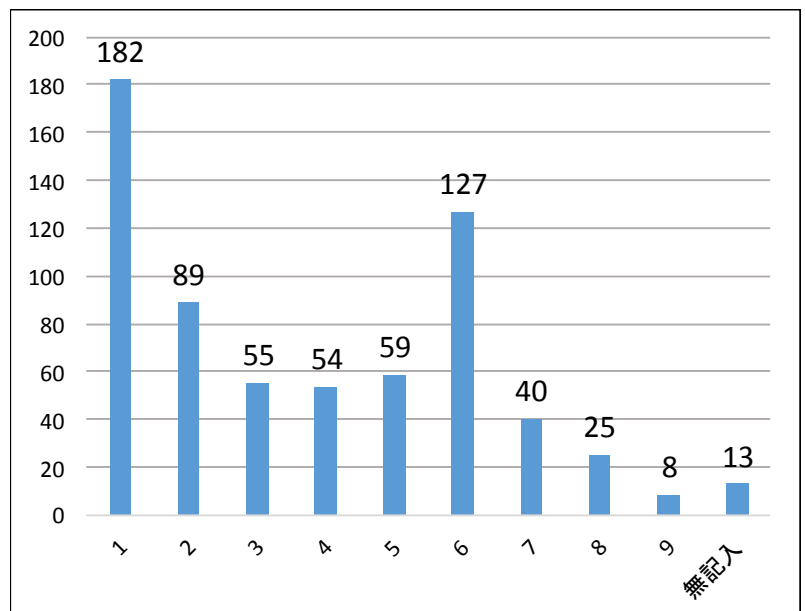
- 1 福祉・医療の情報（消費者被害情報、検診など）が入る
 - 2 高齢者に関する相談がしやすくなった
 - 3 子ども子育てに関する相談がしやすくなった
 - 4 障がい児・者に関する相談がしやすくなった
 - 5 地域づくりに関する相談がしやすくなった
 - 6 市への要望がしやすくなった
 - 7 他地区の情報が入る
 - 8 行政、社協、包括が何をする機関（業務内容など）が分かった
 - 9 課題を解決しやすくなった
 - 10 専門的なアドバイスが得られる
 - 11 特にない
 - 12 その他
- 無記入



職員が参加して良かったことでは、「福祉・医療の情報が入る」が41.1%と最も多く、「他地区の情報が入る」が40.1%を占めている。

【問11】今後、職員（行政、社協、包括）に期待することはありますか。（複数回答）

- 1 福祉のことや市の制度・施策などの情報を伝えてほしい
 - 2 職員がすぐ変わらないでほしい
 - 3 地域のことをもっと知ってほしい
 - 4 小地域ケア会議の交流会だけでなく、全支部を対象とした研修会を開催してほしい
 - 5 地域に求めるもの（職員が必要だと思う取り組みなど）をはっきりしてほしい
 - 6 地域だけでは解決できない事を市全体で検討してほしい
 - 7 小地域ケア会議についてしっかりと説明してほしい
 - 8 特にない
 - 9 その他
- 無記入



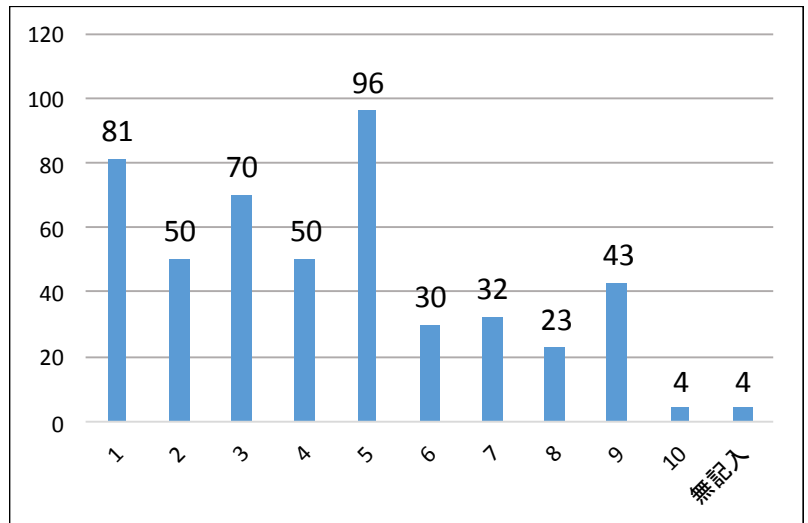
職員に期待することは、「福祉のことや市の制度・施策などの情報を伝えてほしい」が一番多く、55.8%を占めている。次いで「地域だけでは解決できない事を市全体で検討してほしい」が38.9%となっている。

【問12】【問11】で1と答えた方にお聞きします。どのような情報が知りたいですか。

(複数回答)

- 1 人口や高齢化率など地域に関するデータ
- 2 避難行動要支援者名簿
- 3 介護保険制度
- 4 認知症に関すること
- 5 他支部の小地域ケア会議などの取り組み
- 6 消費者被害情報
- 7 集いの場に関すること（ふれあいサロン、こけないからだ講座など）
- 8 医療に関すること（検診、予防接種など）
- 9 活動に関する補助金
- 10 その他

無記入



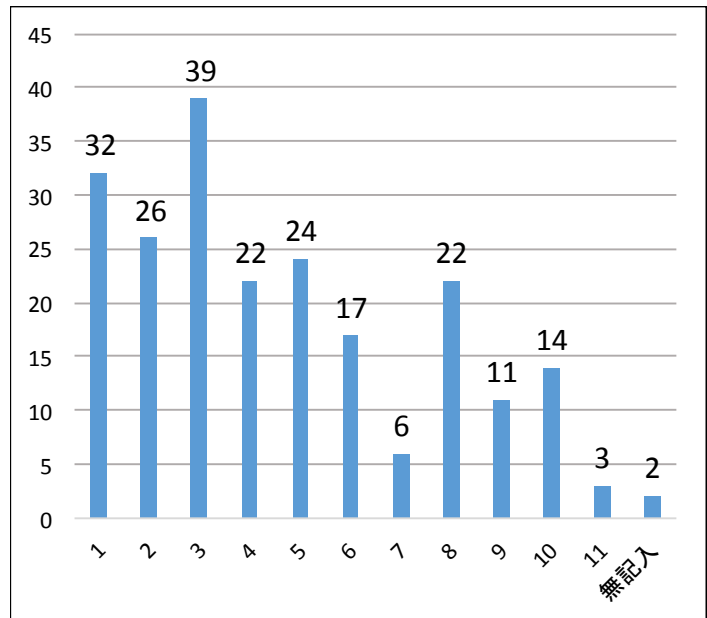
知りたい情報では、「他支部の小地域ケア会議などの取り組み」が一番多く、52.7%となっている。次いで「人口や高齢化率など地域に関するデータ」が44.5%を占めている。

【問13】【問11】で4と答えた方にお聞きします。どのような研修会に参加したいですか。

(複数回答)

- 1 防災・防犯
- 2 地域の見守り（見守りボランティアなど）
- 3 地域の支え合い（ちょっとしたお手伝いなど）
- 4 集いの場づくり
- 5 認知症
- 6 介護保険制度
- 7 個人情報
- 8 健康づくり
- 9 交通・移動
- 10 ひきこもり
- 11 その他

無記入

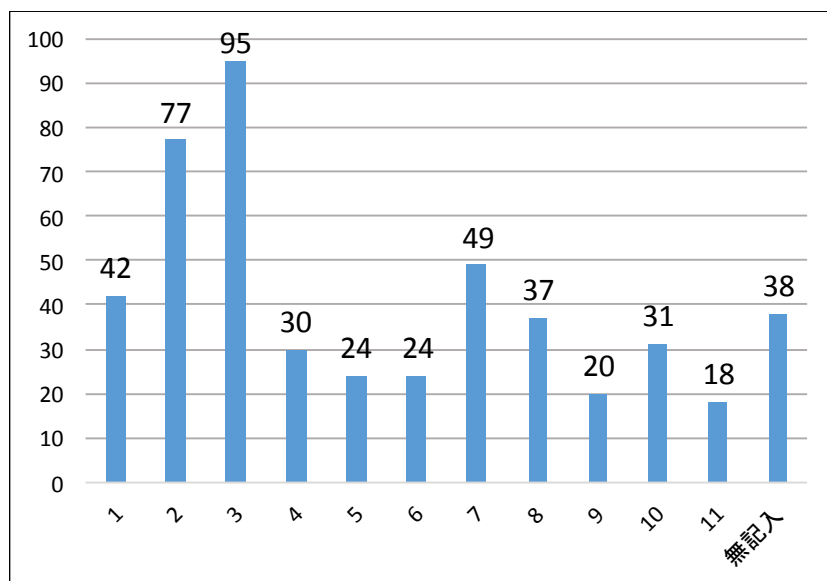


研修内容では、「地域の支え合い」が72.2%と最も多く、次いで「防災・防犯」が59.2%、「地域の見守り」が48.1%となっている。

【問 1 4】 小地域ケア会議を運営していくうえでの課題は何だと思いますか。（複数回答）

- 1 何を話し合っ良いのか分からない
- 2 小地域ケア会議が支部に浸透していないため、活動がしにくい
- 3 小地域ケア会議の委員以外の人の意見が反映されていない
- 4 小地域ケア会議が何か分からない
- 5 開催回数が少なく、間が空いてしまう
- 6 行事を企画する場になっている
- 7 地域課題を話し合えていない
- 8 出席者が少ない
- 9 分からない
- 10 特にない
- 11 その他

無記入

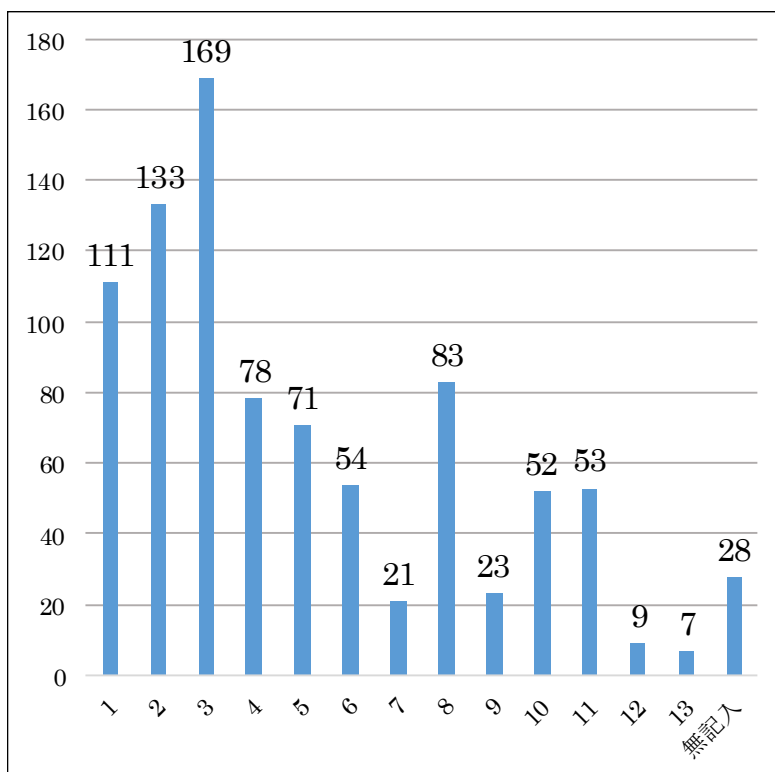


課題は、「小地域ケア会議の委員以外の人の意見が反映されていない」が29.1%とお最も多く、次に「小地域ケア会議が支部に浸透していないため、活動がしにくい」が23.6%となっている。

【問 1 5】 今後、小地域ケア会議で協議・取り組みたいことは何ですか。（複数回答）

- 1 日常的な見守り体制
- 2 緊急時の連絡体制
- 3 災害時の対応
- 4 認知症の方に対する理解と支援体制
- 5 小地域ケア会議の委員以外の意見を聞く取り組み（アンケート、座談会など）
- 6 地域内の行事や集いの場づくり（ふれあいサロン、こけないからだ講座など）
- 7 支部福祉活動計画の策定
- 8 担い手の育成
- 9 子育て支援
- 10 移送支援（買い物や通院）
- 11 空き家・空き店舗の活用
- 12 特にない
- 13 その他

無記入



今後協議・取り組みたいことは、「災害時の対応」が51.8%と最も多く、「緊急時の連絡体制」が40.7%、「日常的な見守り体制」が34.0%となっている。

4、小地域ケア会議に関するご意見(自由記述)

●代表者

- ・「誰もが住み慣れた地で安心して暮らし続けるために」小地域ケア会議が行われ、それぞれの町内で課題は次々に出てきます。そのとりまとめも行政にしてもらいましたが、さてその次にすることは？誰が音頭を取るのか？その解決に向けて、どのような行動をとっていったらよいのかわかりません。行政がアドバイスしてくれたら解決策に向けての協議とかの段取りなどは進めて行けそうです。
- ・課題がありながら、前進していないことにモヤモヤしています。アドバイスをお願いします。まずは今年度の小地域ケア会議を開催することでしょけれど内容も検討していただきたいです。
- ・互助システムの構築をする。
- ・行政、社協、包括の皆さんにお世話になりながら無理な活動ではなく、長く続けられる内容で多勢参加できるものにしたらと思います。
- ・住民同士のつながりを大切に笑顔で楽しく集える場所づくりを目指したい。
- ・災害発生時に於ける要支援者側の努力を行政として指導して、支援する側の安心感を与えてほしい。まちづくり協議会がメインになっているので、行政側も連携を強めてほしい！

●委員

- ・生活支援体制づくり。
- ・支部で会議があるが、参加者が理解しているとは思えない。数多く取り組むのではなく、何か一つでも具体的に取り組むべきだ。住民への伝達が出来ているとは思えない。
- ・行政、社協、包括の職員と地域の役員と交流を深めてお互いの信頼を深める。
- ・町内の役員が短期で変わるので引継ぎが困難です。
- ・個人情報扱いがむずかしいのでなやみます。
- ・誰にも直面することなので、少しでも長く地域で暮らせる手立て、取り組みができたらいい。
- ・満80歳以上の人～75歳の人(生年(S?年))が分かれば助かります。
- ・委員だけでなく、町内(小部落)の人にも関心をもってもらいたい。
- ・特に防災については進められていないので、どんどん住められるようにしていきたいし、協力してもらいたい。
- ・町内にもって帰ってもなかなか参加者が少ない。
- ・全体に広がる事が必要だと思う。
- ・小地域ケア会議がどういう事からこのネーミングになりましたか。
- ・自分の住んでいる地域がさらに活性化していくためにもっと若い人にも入ってほしい。
- ・外(城西以外及び他府県の見学等)に出て他との交流を持ってもいいのでは？見識をもっと深めたい。
- ・忙しいと思いますが、若い人たちが多く参加してくださるといい。
- ・地域福祉と言えばあまりにも守備範囲が広く、漠然としてしまう。少しずつでも良いからの的を絞って取り組んだ方がいい。
- ・水害などの災害があった時の避難場所の明確な場所を決めてほしい！

- ・課題が多く、上記の1～10までの項目でも何一つ十分でない現状、とりあえず高齢者のケアの在り方や、緊急時の連絡（これは実際難しい、援帯等災害時に使えないことから）や避難の助け合いや、活動の方法を充実できるように考えていきたい。とりあえず、隣近所の方との日頃のコミュニケーション（あいさつ、たわいのない会話から）高齢の方を優先して取り組みたい（認知症や障害者の方との接し方も大切ですが・・・）
- ・安全・福祉・防災等は、普段必要なく、我が身に関係する時困る最大事項である。現状の活動を最大限実施することが普及活動に必要である。
- ・自治協や連町、公民館活動が重複し同じ事業が多すぎるので整理することが最優先課題である。これ以上会議は必要ない。
- ・小地域ケア会議を定期的で開催してほしい。
- ・13町内の町内会長他2～3名参加し城東地区の現状を話し合っって少子高齢化だが住みやすいまちづくりができるように。
- ・認知症、8050問題、ひきこもり、孤独死・・・見守りの大切さは身に染みて分かりました。今後どう声かけ、手助けの一步を踏み出すことが出来るか、症例を聞いてその対応、困ったことをうまくいったことなどを聞いていきたいと思いました。この時の家族側の気持ちも知りたいです。声かけを恐れずにするためには、症例を聞いてそれを自分たちの中で分析して身に着けたいと思いました。
- ・認知症についての学びが中心でしたが、地域に住まう方々の優しい心遣い、助け合いの輪が広がりますよう「我が事」として取り組んで参りたいです。
- ・高齢者の車免許返上後の交通手段について。高齢者の避難手段、避難先での受け入れ体制について。
- ・小地域ケア会議、直接ではありませんが、町内会同士どうすれば家から出て付き合ってもらえるか、まだまだ模索中。色々行事があるが不参加者が多数必要ないのかな？悩んでしまう。
- ・役員が集まって話を聞くのも大切ですが、本当に災害が起きた時に避難の必要がある住民の人たちも参加した方が良くと思います。間違った情報が伝わるのも良くないと思うので。
- ・資料やデータとソフト面は参考になっているのでこれを具現化していくことが必要。
- ・会議のための会議にならないように決定と実践を。
- ・ケア会議がより強化、充実されることを期待します。
- ・町内単位ですべての事に確立する。
- ・支援が必要な人や家族の方が出席して、どの様なときにどの様な支援が必要なのか会議で説明してほしい。
- ・小地域ケア会議ということが団体役員しか浸透していないと思う。地域の人たちにはよくわからないのでは？と思った。
- ・地域ケアの目的と活動内容等を地域全体で理解し、支えあうことが大事だと思う。
- ・まず、各小地域（町内会単位）での具体的な課題を出し合うことから始める必要がある。身近なものから、考えていく方がよいと思う。
- ・地域会議の方法（進行等）について、行政の話を聞くだけでなく、各町内会の課題や取り組みについて話し合いができればいいかなと思いました。
- ・ひとり暮らしの方が、バイクの免許を返納したが、ごみ捨てに行けず、牛乳屋さんに、配達の中に行ってもらっている。何もしないのも悪いので、「志」をおこしている。
- ・お金の面、通院の費用などの様に考えてあげるのが良いが、困ることも多い。

- ・小地域ケア会議に、何度か出席させてもらっていますが、代表者だけでは、問いもできません。職員の方にわざわざ参加して下さっているのに何も内容がない様に思います。
スライドを見るのも、解りやすくとてもいいのですが、もっとこの会議を多くの人に知ってもらう必要があるのではないのでしょうか？
- ・初めての参加で市から防災についての話が中心であり、協力し合う大切さが必要に感じました。すぐ時間が過ぎ、自分たちの地区の危険度が少し理解できました。ここに引っ越し、6年目になりますが、なかなか年齢差があり顔も分からない方がおられたので、西ブロックで皆で取り組める活動があったらと感じます。今回愛育委員をして、書類の配布をしながら自宅訪問で顔を知ることができましたが・・・
- ・地震、水害、豪雨等今までにない災害が起きている。いつ、どこでどうなるか。危機感をいだき、前向きに考えていきましょう。
- ・若い人、壮年の方の移住やIターン、Uターンへの取り組みが必要と思われます！
- ・今年初めての役員になり、会に参加しました。「小地域ケア会議」という会があることを初めて聞きました。もっと、それぞれの所属する会（町内会、子ども会など）への発信も必要だと思います。
- ・常会長を役員とすべきであると思う。
- ・必要な情報のプールのしかた（情報のプールがどこかは「公開」）
- ・その情報へのアクセスのしかた（種別の異子複数ルート要）
- ・その情報の伝達の仕組み（これも複数ルート要？）
- ・「災害」を想定し、電気・通信が利用不可能事態を具体的に考えた組織をつくりたい。動かす訓練が必要。
- ・顔つなぎの会議は現状で良いがもって小単位で日常的に動ける組織であってほしい。
- ・地域内での活動が皆さん集合しやすいと思います。
- ・何を主にすべきかを考えて進めていかないといけないのではないのでしょうか…？
- ・全員参加の取り組みを望みます。
- ・個人情報のため、カード作成が難しい。緊急時は病名が分からないため、医療機関名が書けない。
- ・すぐに成果が出なくても（繰り返し）会議を重ねることが大切だと思う。継続していく事です。
- ・地域ケアとは言っても、子どもたちは都会に住んでいて老人の世話だけを地域だけに任せている現状は？ケアと言っても、地域の人達がどこまで踏み込んでいいのか考えさせられる。高齢化社会の大きな課題と思う。
- ・知り得た情報を他にもらさない。その中でいい方向へと進める為の知恵を！自覚を！
- ・このままで十分である。継続は力なり。
- ・消極的な人が多い中でどのように進めていくかが課題。きちんと考えている人もいると思うが、特にうちの地域は面倒くさいという人たちがばかり。
- ・問題のある家庭は多様でそれを声に出して話し合えるものではなく、かといって放っておけば（と思える例がある）どの程度地域の方に関わってもらうのが良いのか難しい。
- ・会議の内容について社協の方でまとめ支部全体に回覧し、情報が各戸に回るようにしてほしい。ケア会議について知らない人がほとんどであることが一番課題ではないだろうか？
- ・同じ問題点が常にケア会議で出ていますがそれが次のステップに出来ていない、又どのような方法でか、常に検討までで終わっています。役員の方も常に仕事があり、手が回っていないのが現状と思います。

5. アンケート調査から見えてきたこと

●小地域ケア会議の必要性

代表者、委員を合わせると、小地域ケア会議の必要性に関して、9割以上の方が必要であると感じていることから、地域住民にとっても重要な会議であることが分かった。

必要な理由として、「地域の情報を知ることができる」(約6割)「地域の課題や問題を地域住民みんなで解決に向けて話し合うことができる」(約5割)、「地域の福祉課題・問題を知ることができる」(約5割)となっている。

一方で、「地域の要援護者についてみんなで相談できる」が約3割と最も少なくなっている。

●小地域ケア会議の負担感

代表者、委員とも小地域ケア会議に対して7割以上の方が、負担感が少ないと感じている。負担感を感じている方でも、「地域の福祉課題を知ることができる」「地域の問題解決につなげたい」と小地域ケア会議に参加することで、地域課題を把握できること、また小地域ケア会議に対して地域の課題解決の場として期待していることが分かった。

●職員が参加することの効果及び今後の期待

職員が小地域ケア会議に参加して良かったことは、代表者、委員とも「他地区の状況が入る」「福祉・医療などの情報が入る」に回答している方が多い。一方で、「子どもや障害について相談がしやすくなった」は代表者、委員とも2割にも至っていない。

また今後職員に期待することは、「市の制度や施策などの情報を伝えてほしい」が代表者、委員とも5割を超えており、「地域だけでは解決できない事を市全体で検討してほしい」は代表者が約5割、委員が約4割となっている。

●小地域ケア会議の運営に関する課題

代表者、委員とも「小地域ケア会議の委員以外の意見が反映されていない」ことを課題と感じている方が最も多いことが分かった。その他の意見の中には、小地域ケア会議に、若い方の参加が少ないことを課題に感じている方もおり、若い人の意見を反映しにくい状況にあることが分かった。

次に、「小地域ケア会議が支部に浸透していないため、活動がしにくい」が委員の回答では多く、小地域ケア会議が地域全体に浸透していないことが見えてきた。

●小地域ケア会議の成果

「地域の現状や良いところが把握できた」が委員では最も回答が多く、約4割であった。「地域の福祉課題が明確になった」は代表者が約5割、委員が約4割と成果として地域の現状把握、地域課題の整理・明確化につながっているが、具体的な取り組みや課題解決につながったと回答した方は少ない。

また、「福祉への関心が高まった」と代表者は5割以上が回答しているが、委員は約2割にとどまっている。

●小地域ケア会議で今後協議・取り組みたいこと

小地域ケア会議で今後協議・取り組みたいことでは、「日常的な見守り体制」「緊急時の連絡体制」「災害時の対応」は、順番は違うが代表者、委員とも回答が多く、関心が高いことが分かった。

6、課題及び今後の方向性

●小地域ケア会議で検討されている内容や市全体で検討すべき課題が十分に地域包括ケア会議に取り上げられていない現状がある。津山版地域包括ケアシステムにあるように、地域だけでは解決できないことは地域包括ケア会議で検討し、社会資源の改善・開発に向けて提言する仕組みになっている。今後は各担当職員が地域だけでは解決できない課題を抽出し、地域包括ケア会議等に提案していく必要がある。

●小地域ケア会議は、地域課題の解決協議の場であるが、高齢者の問題に目を向けられることが多い。しかし、8050問題、子どもの貧困など地域では子どもや障がい者など様々な問題が起こっている。そのため、各担当職員が地域の状況を把握し、小地域ケア会議で情報提供や必要な取り組みを提案していくことが必要である。

●地域の現状、福祉課題の把握はできているが、具体的な取り組み、解決までには至っていない地域が多い。地域住民が主体的に取り組む実践できるよう小地域ケア会議のメニューの実施及び見直し、職員のスキルアップを行っていく。また、取り組みを進めるにあたって、地域の関係団体と連携していく必要があるため、先進的に取り組みが進んでいる地域と情報交換をする機会を提供する必要がある。